

# 勝海舟記念 下町(浅草) がん哲学外来 Medical Café Asakusa

宮原 富士子

協力

浅草かんわネットワーク研究会

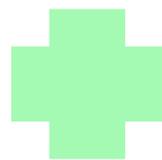
NPO法人マイウェイ協会

渡會 浅草美立道場

女性の健康支援のためのNPO法人HAP  
ケイ薬局 / (株)ジェンダーメディカルリサーチ

# 浅草ビジョン(基本理念)

“がん”患者様と家族を支える



浅草地域の、介護医療スタッフ  
顔の見える関係を築く

# “がん”・・・治療・・・生活・・・家族

診断時からの  
緩和ケア

緩和ケアの必要性

診断期

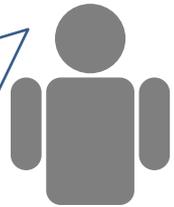
治療期

療養期

えっ!! 私、“がん”  
なんだって…  
何で?  
どうして?  
どうなるの?



これからどう  
生きてゆくの  
だろうか?  
どうしたらよいか?  
でも家にいたい…



緩和ケアとは、いかなる時期患者の苦痛を緩和し  
QOLを改善する取り組み

患者さま本人の気持ち・・・

患者様の家族の気持ち・・・

どんな生き方を  
望んでいるのだろうか？

# がんの療養や 緩和ケアをとりまく現状

症状緩和が不十分である  
医療用麻薬の消費量は少ない

安心してがんの治療が受けられ、  
苦しくなく過ごせると考えている人は半数に満たない

希望する療養場所は変化する

# 患者・家族からみた望ましい緩和ケア

## 日本人が「望ましい死」を迎えるために必要だと考えていること

- がん医療における望ましい終末期医療のあり方について、一般市民2548人および遺族513人を対象とした調査

Miyashita M, et al: Ann Oncol. 18: 1090-1097, 2007

## 日本人が共通して重要だと考えること

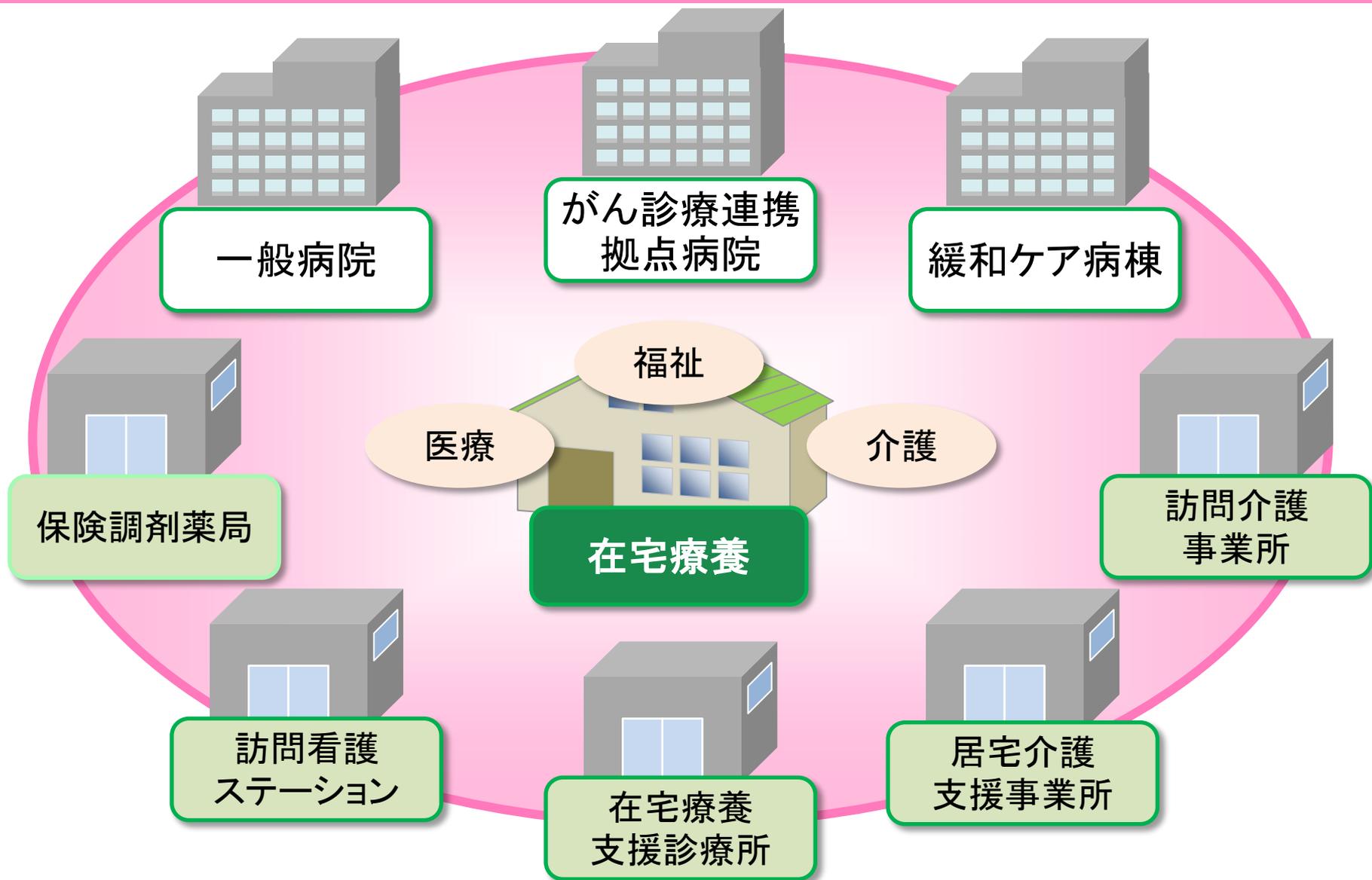
- 身体的、心理的な苦痛がないこと
- 望んだ場所ですごすこと
- 希望や楽しみがあること
- 家族との良好な関係
- 落ち着いた環境で過ごすこと
- 人として尊重されること
- 人生を全うしたと感じられること
- 医療スタッフとの良好な関係
- 他者の負担にならないこと
- 自立していること

## 人によって重要さが異なること

- 自然なかたちで亡くなること
- 他人に感謝し、心の準備ができること
- 役割を果たせること
- 死を意識しないで過ごすこと
- 納得するまでがんと闘うこと
- 自尊心を保つこと
- 残された時間を知り、準備をすること
- 信仰をもつこと

Miyashita M. Ann Oncol 2007;18;1090-1097

# 緩和ケアの地域（医療圏）連携



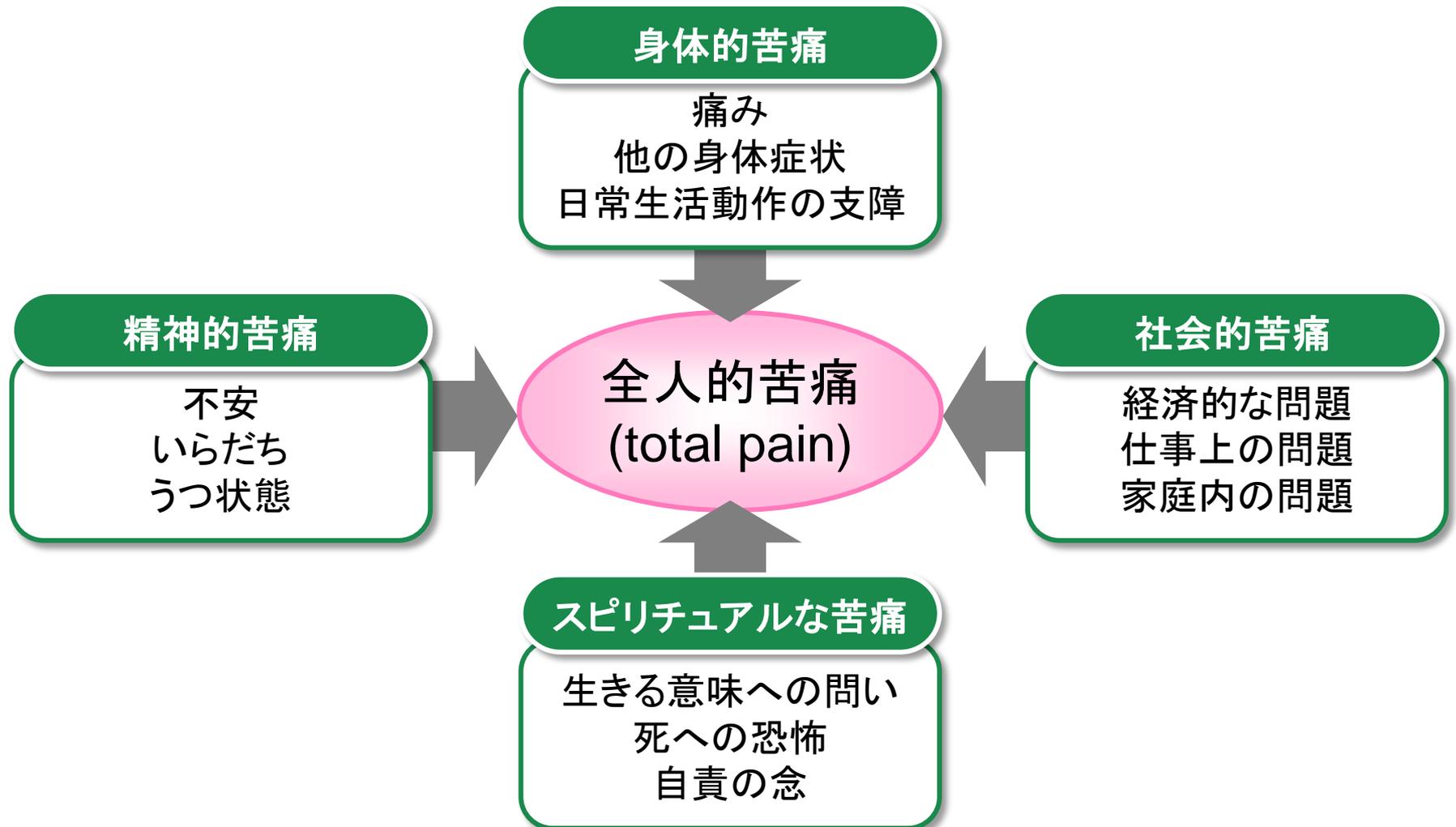
# WHO; 緩和ケアの定義 (2002)

## 緩和ケアとは

生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者と家族の痛み、その他の身体的、心理社会的、スピリチュアルな問題を早期に同定し適切に評価し対応することを通して、苦痛(suffering)を予防し緩和することにより、患者と家族のQuality of Lifeを改善する取り組みである。

# 全人的苦痛 (total pain)

- 患者の苦痛は多面的であり、全人的に捉えなければならない



医療提供者・介護提供者だけが  
知っていたのでは意味がない。



一般市民に在宅医療や緩和ケア  
に関わる  
社会資源情報を広めなくては。

# 地域で 患者様・家族・医療者・介護者 顔の見える関係 を作ってゆこう!!

立ち上がる地域発の七人の獅子たち...



土屋薬剤師

倉持隊長: 緩和  
ケア認定看護師

宮原薬剤師

村上ケアマネ

西澤ケアマネ

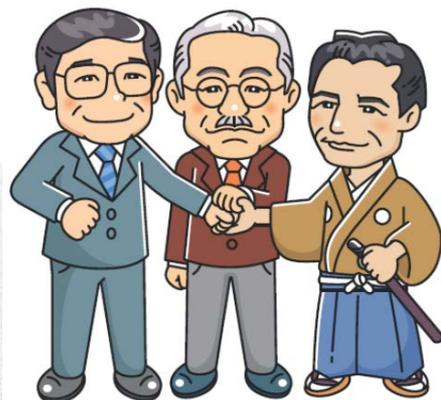
廣橋猛医師

安達昌子医師

あなたの席もご用意あり。あなたの居場所があります。  
家族と一緒に考える居場所があります。



—樋野興夫先生とともに—



—樋野興夫先生とともに—

開講記念

# 市民公開シンポジウム

場所 浅草三業会館  
(浅草見番)

平成23年 **12/23** (金祝) 14:00~16:30  
(15:30開場, シンポ16:00まで, その後情報交換)

## がん哲学外来 研修会

満を持して時機到来!! 浅草“がん哲学外来”を立ち上げることになりました。  
がん治療に必要なものは、①生きる意欲、②緩和ケア、③標準的治療(抗ガン剤など)の3つだそうです。このメディカルカフェは、その中の①生きる意欲に焦点をあてて、なおかつ②の緩和ケアが自宅でも継続してできる地域として、③標準的治療を理解する医療者が常に寄り添う地域としての基点になればよいと想いが募ります。がん患者さんの学びの場であると同時に、医療者の学びの場ともなるものがあればよい・・・そんな思いが仲間みんなに共通ではないかと思えます。

今回は、樋野興夫先生を招聘いたしまして、様々な地域で展開されている“がん哲学外来”のProsConsや実際のエピソードをお聞きしたいと考えています。

樋野先生自らご登壇いただけるのとこと大変貴重な機会になります。  
医療関係の皆様 介護関係の皆様 ぜひご参加いただけますよう御願いたします。

平成23年

**8月18日** 木  
19時~20時30分  
お茶の水会議室

対象：医師・薬剤師・看護師・保健師 他介護関係の方 興味のある方  
会費：1,000円  
主催：ケイ薬局 & 株式会社ジェンダーメディカルリサーチ  
協力：NPO法人HAP (Healthy Aging Projects For Women)

今後ともテーマを広げてゆく予定です。ご希望テーマあればお知らせ下さい

がん哲学外来 in medical café では、診療行為は一切いたしません。  
この外来は治療や診察等のセカンドオピニオンではありません。

### ◆基調講演 樋野興夫

日本国の医療維新に向けた、新たな舵取り  
“がん哲学外来”の歩みと展開【浅草の地からの発信】

### ◆パネルシンポジウム 司会／倉持雅代 宮原富士子

パネラー／医師(足立or山口)、看護師(村上)、薬剤師(土屋)、  
ジャーナリスト(読売新聞)、(患者、行政)

宮原富士子(薬剤師)

倉持雅代(看護師)

土屋千雅子(薬剤師)

村上美恵子(看護師、ケアマネージャー)

運営  
コアスタッフ

地元の在宅医療を担う医療スタッフ有志が、  
浅草人のさまざまな生きかたと出会い、  
ともに考えながら明るく前向きなCafeLifeを運営しております。

がん哲学外来 in medical café では、診療行為は一切いたしません。  
この外来は治療や診察等のセカンドオピニオンではありません。

# 勝海舟記念（下町）浅草がん哲学外来のあゆみ

あなたの居場所がここに 있습니다。

お茶を飲みながら心が癒される場所があります。  
自分のことを語りたい気持ちになったら、耳を傾けてくれ、  
共に生きる仲間がいます。  
それが、浅草のメディカルカフェ。  
ご相談を積極的に承っております。お気軽にご連絡下さい。

平成23年7月19日発足	立ち上げ準備研修会(ケイ薬局会議室)
平成23年8月18日	がん哲学外来研修会(お茶の水会議室)
平成23年12月23日	開設記念 市民公開シンポジウム(浅草三業会館:見番)
平成24年12月22日	第3回勝海舟記念下町浅草がん哲学外来シンポジウム (浅草三業会館:見番)

- この他に、平成23年8月11日より始まり、これまで12回開催を致しました**メディカルカフェ**(浅草)、平成24年7月18日より始まり、これまで7回開催されました**早朝読書会**(お茶の水会議室)などを主催しております。

～新渡戸稲造生誕150周年記念～「偉大なるお節介症候群」の蔓延

# 第3回 勝海舟記念 下町(浅草) がん哲学 外来 シンポジウム

## 医療の隙間を埋める ～浅草からの発信～

特別講演 「なぜ、今、新渡戸稲造なのか？」 (12:30～)

NPO法人がん哲学外来 理事長 順天堂大学医学部病理・腫瘍学 教授 樋野興夫

### ◆講演 がん治療最前線

【ナビゲーター:安達昌子・倉持雅代】

- ① 今、血液の腫瘍の治療は? (12:45～)  
東海大学医学部血液・腫瘍内科教授 安藤 潔 (第2回がん哲学外来市民学会大会会長)
- ② 今、肺がんの治療は?  
東京医科歯科大学呼吸器外科 石橋洋則
- ③ 今、乳がんの治療は?  
三井記念病院乳腺内分泌科部長、地域医療部部長 福内 敦
- ④ 緩和ケアの取り組み(浅草での実践)とまとめ  
慶應義塾大学病院緩和ケアチーム、医療法人社団博腎会、野中医院 安達昌子  
—— 休憩 (14:05～) ——

### リレートーク&パネルディスカッション

地域医療を担う医療者からのメッセージ、市民・地域からの声 (14:20～)

【ナビゲーター:大森亜紀(読売新聞記者)・宮原富士子(がん哲学外来コーディネーター)】

- ① 佐久での取り組み(佐久がん哲学外来)
- ② がんと共に生きる人へのメッセージ(経験者の立場から)
- ③ 浅草地域での取り組み(訪問診療所医師、訪問看護師、薬剤師、ケアマネジャー等)
- ④ 地域とともに考える:行政・政治に関わる方たちからのメッセージ  
大森亜紀さんからのメッセージとまとめ

◎朝院 (15:30～)  
内田淳子(女優)

◎「人は物語を創り出す生き物 生きる意味を考える」(15:45～)  
佐久市立浅間総合病院院長 村島隆太郎  
—— 全体討論とまとめ ——

平成24年  
**12/22** ±  
12:30～16:00 (開場12:00)

場所  
**浅草三業会館**  
(浅草 柳通り見番 2階大広間)  
東京都台東区浅草3-33-5  
☎03-3874-3131

参加費 無 料

対象/「がん」とともに生活している方・家族の皆様、医療従事者、行政担当者、その他がん哲学外来に興味のある方

運営コアスタッフ 倉持雅代(看護師)/土屋千雅子(薬剤師)/宮原富士子(薬剤師)/村上美恵子(看護師、ケアマネジャー)

主催:勝海舟記念下町(浅草)がん哲学外来・NPO法人Healthy Aging Projects For Women(HAP)  
後援:NPO法人がん哲学外来 お問い合わせ先(担当:みやはら):TEL03-3876-1506 / FAX03-3876-9084

「偉大なるお節介症候群」友の集い

# 第4回 勝海舟記念 下町(浅草) がん哲学 外来 シンポジウム

平成25年  
**12/21** ±  
12:30～16:00 (開場12:00)

【相談】2組までお受けします

- 13:20～13:50 ▶ 1組
- 16:00～16:30 ▶ 1組

場所  
**浅草三業会館**  
(浅草 柳通り見番 2階大広間)

参加費 無 料

運営コアスタッフ  
倉持雅代(看護師)  
土屋千雅子(薬剤師)  
宮原富士子(薬剤師)  
村上美恵子(看護師、ケアマネジャー)

お問い合わせ先(担当:みやはら):TEL03-3876-1506

スカイツリーと  
墨田川を懐くこの街で  
われ、浅草〜墨田の  
がん哲学の礎とならん





勝海舟記念 下町(浅草)がん哲学外来

# in medical café

—樋野興夫先生とともに—

平成25年4月18日(土) 18:30 ~ 20:30  
5月30日(土) 18:30 ~ 20:30 

場 所: お休み処 茶房「花の辻」 <http://www.hanatsuji.com> 参加無料 連絡先  
電話: 03-6676-6771 当日参加可 03-3876-1506 (担当宮原)

対 象: がんと共に生きておられる患者様・家族の皆様、医師・薬剤師・看護師・保健師、他介護関係の方 興味のある方

がん治療に必要なものは、①生きる意欲、②緩和ケア、③標準的治療(抗がん剤など)の3つだそうです。

このメディカルカフェは、その中の①生きる意欲に焦点をあてて、なおかつ②の緩和ケアが自宅でも継続してできる地域として、③標準的治療を理解する医療者が常に寄り添う地域としての拠点になればよいと想いが湧きます。がん患者さんの学びの場であると同時に、医療者の学びの場ともなるものがあればよい...そんな想いを共有できる「勝海舟記念 下町(浅草)がん哲学外来 in medical cafe」。樋野先生自らご登壇いただける大変貴重な機会になります。

ぜひ一度、がん哲学外来で話を聴いてほしいと思われる患者・家族の皆様、そして医療関係の皆様、介護関係の皆様、ぜひご参加いただきませう御願いたします。

## ご相談をそれぞれ 2組までお受けいたします

【相談 2名(2組)様】①18:45~/②19:30~/  
medical café は18:30より21:00まで何時でも参加できます。

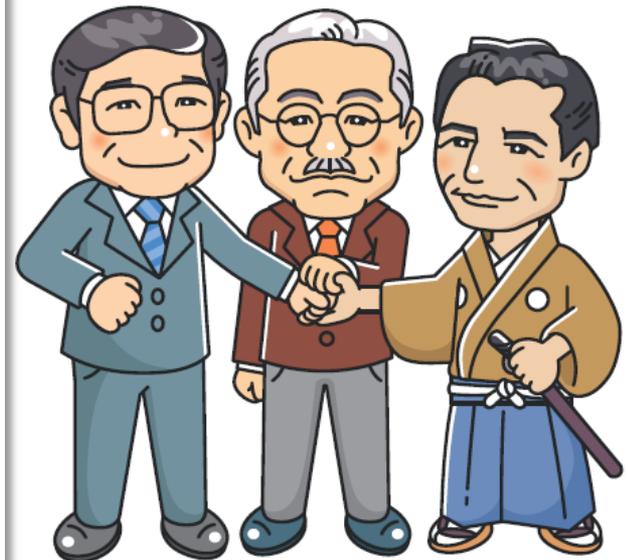
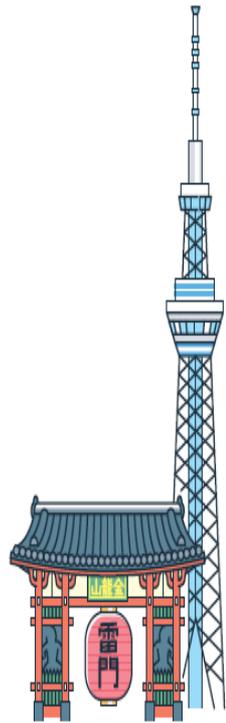
運営  
コアスタッフ

宮原富士子(薬剤師)  
倉持雅代(看護師)  
土屋千雅子(薬剤師)  
村上美恵子(看護師、ケアマネージャー)

地元の在宅医療を担う医療スタッフ有志が、浅草人のさまざまな生きかたと出会い、ともに考えながら明るく前向きなCafeLifeを運営しております。

がん哲学外来 in medical café では、診療行為は一切いたしません。この外来は治療や診察等のセカンドオピニオンではありません。

主催: ケイ薬局 & 株式会社ジェンダーメディカルリサーチ / 協力: NPO 法人 HAP (Healthy Aging Projects For Women)



# メディカルカフェの3ヶ条

## 方針の3ヶ条

1. 他人の必要に共感すること(自分を押し付けない)
2. 暇げな風貌(忙しすぎてはならない)
3. 速効性と英断(いいと思ったらすぐ実行)

## スタッフの3ヶ条

1. 品性(人生の目的は品性の完成である)
2. 使命感(偉大なるお節介)
3. 犠牲を払う(自らは犠牲になっても、心は豊かになる)

## 役割の3ヶ条

1. 個人面談
2. 場作り(来訪者にお茶をだす)
3. 研鑽(30分間の沈黙にも、お互いが苦痛にならない存在となる)

# メディカルカフェとは

メディカルカフェ(ここにあなたの居場所があります)

かんわネットワーク

緩和ケアの知識・技術の  
向上を図った勉強会

がん哲学外来

市民と共にその地域に根付き、  
実際の患者さんを支える活動

女性の更年期健康講座

介護を支える家族・医療介護スタッフで  
ある女性の健康づくりを支える活動

渡會美立道場(ロコモ)

# 浅草かんわネット研究会 とは

地域の中でも質の高い緩和ケアを提供するために、  
地域の中での連携を深める。

地域と病院の間で切れ目が生じない緩和ケアを  
提供するために、地域と病院間の連携を深める。



# 浅草かんわネットワーク研究会とは

どのような疾患・年齢・状態でも、住み慣れた地域で安心して過ごし続けられるように、地域全体で緩和ケアが提供できること、地域の様々な職種の間と顔の見える関係を作っていく事を目指してこの会を立ち上げました。数人で緩和ケアの勉強会から始めましたが、少しずつ仲間が増え、患者さん(利用者さん)への安心のお届けが出来ていると確信しています。

この会は病院・地域の垣根を越えて、緩和ケアに前向きに関わっている方々との公平・公正な交流の場として病院・地域の医師・看護師・薬剤師・ケアマネージャ・ヘルパー等の仲間構成されております。緩和ケアに関心のある方、どなたでもどちらからでもウェルカムです。

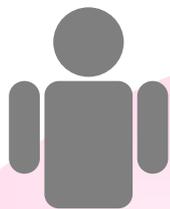
このような方はお気軽にご相談下さい。

- 現在、ご本人もしくはご家族が闘病中の方で、緩和ケアについて詳しく知りたい方
- ご自宅で緩和ケアを受けたいと思っている方
- 現在、がんと共に生活されている(治療中の)方
- ご家族の方で将来はご自宅で治療を受けたいと思っている方 等

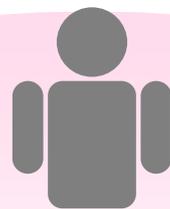
# 浅草かんわネットワーク研究会とは

さまざまな立場、年齢、職種等の仲間と顔の見える関係を作り、住み慣れた地域で安心して過ごし続けられるように、地域全体で緩和ケアが提供できる事を目標として活動しています。

地域の  
方々



がん患者さん



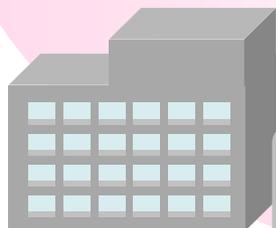
がん患者さん  
のご家族



緩和ケアについて  
学びたい方

公平・公正な  
交流の場

病院・  
薬局・  
介護施設  
等



# がん哲学外来とかんわネットワーク研究会のあゆみ

## がん哲学外来

## かんわネットワーク研究会

2010年

12月11日発足 第1回あさくさ緩和ケア研究会

2011年

7月19日発足 立ち上げ準備研修会

4月16日 第2回浅草かんわネットワーク研究会  
テーマ:「緩和ケアってなあに」

8月8日 がん哲学外来研修会

9月3日 第3回浅草かんわネットワーク研究会  
テーマ:「ほすびすってどんなところ」

12月23日 開設記念 市民公開シンポジウム

12月9日 第4回浅草かんわネットワーク研究会  
テーマ:「患者さんが安心できる緩和ケアのために・  
これからの地域連携とは」

2012年

12月22日 第3回勝海舟記念  
下町浅草がん哲学外来シンポジウム

3月30日 第5回浅草かんわネットワーク研究会  
テーマ:「がん患者さんの口腔ケア」

8月23日 第6回浅草かんわネットワーク研究会  
テーマ:「がん患者さんのケアマネジメント」

10月30日 第7回浅草かんわネットワーク研究会  
テーマ:「訪問看護ってなにをするの」

12月1・2日 第8回浅草かんわネットワーク研究会  
テーマ:「病院と在宅の連携 ～他の職種の役割を知って  
自分の役割を見直そう～」

- この他に、平成23年8月11日より始まり、これまで12回開催を致しました**メディカルカフェ**(浅草)、平成24年7月18日より始まり、これまで7回開催されました**早朝読書会**(お茶の水会議室)などを主催しております。

公開  
シンポ  
ジウム

がんになっても  
住み慣れた地域で  
安心して過ごすために

日時 平成25年 **4/6** 14:00 ~ 17:00  
**土**

場所 三業会館(浅草見番)

対象 保健医療者、介護福祉関係者

定員 100名(定員になり次第締切) / 参加無料

プログラム

13:30	開場
14:00 ~	はじめに 浅草かんわネットワークの活動について / 安達昌子
14:30 ~ 15:30	基調講演I (60分) / 座長 安達昌子 倉持雅代 「がんになっても住み慣れた地域で安心して過ごすために」 地域多職種で支える工夫 ケアタウン小平クリニック 山崎章郎先生
15:40 ~ 16:10	基調講演II (30分) / 座長 安達昌子 倉持雅代 「がんになっても住み慣れた地域で安心して過ごすために」 浅草の地で最期まで安心して過ごすには? 野中医院/東京都医師会長 野中博先生
16:20 ~ 16:50	全体ディスカッション
	おわりに
17:00 ~	終了

主催責任者

安達昌子(慶応義塾大学病院緩和ケアチーム/医療法人社団博腎会野中医院)

倉持雅代(浅草医師会立訪問看護ステーション)

この研修会は公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています

第9回  
浅草かんわネットワーク研究会

「偉大なるお節介症候群」友の集い

第4回 勝海舟記念

下町(浅草)

がん哲学  
外来

シンポジウム

平成25年

**12/21** **土**

12:30~16:00(開場12:00)

【相談】2組までお受けします

13:20~13:50 ▶ 1組

16:00~16:30 ▶ 1組

場所

浅草三業会館

(浅草 柳通り見番 2階大広間)

参加  
無料

運営コアスタッフ

倉持雅代(看護部)

土屋千雅子(薬剤部)

宮原富士子(薬剤部)

村上美恵子(看護部、ケアマネージャー)

スカイツリーと  
墨田川を懐くこの街で、  
われ、浅草〜墨田の  
がん哲学の礎とならそ

お問い合わせ先(担当:みやはら): TEL03-3876-1506 / FAX03-3876-9084

# 介護してもらなら… 夫婦で温度差 夫は「妻に」5割超

- おりしも…先月こんなニュースが…

介護が必要になったら、だれに頼りたいかー

高齢者の仲間入りを始めた団塊の世代の意識を内閣府が昨年秋に探ったところ、男女で大きな差が表れた。男性の半数余りが「妻」を挙げた一方、「夫」と答えた女性は3割に満たなかった……………

2013年6月17日朝日新聞

"Meet The HAP 浅草"  
特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women (HAP)

# 女性の健康出前講座 更年期講座 at 浅草

浅草の女の人が元気に生きてゆくために  
浅草の介護・医療を支える人の健康のために

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理（以下「ウイメンズヘルスケア」という）の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウイメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献することを目的とするNPO法人です。このたび、女性の健康出前講座の一環として“更年期講座”を開催いたします。百聞は一見にしかず、興味関心のある皆様の参加をお待ちしています。



18時00分より

## 記

日時：平成25年4月12日（金）18時00分～20時30分  
場所：浅草医師会立訪問看護ステーション  
対象：看護士の皆様、ほか お聞きになりたい方歓迎です。  
会費：無

### 【技術移転研修】！

主に40代以降の女性の悩みや介護の悩み、夫のQOL、



### 相談

室の閉鎖をすることで、なかなか聞いて、お話を聴きし、アドバタイズして仕事をめざすことを目的とした研修は下記を中心に学びます。

1)更年期に関する基本知識 2)わが国における女性医療の流れ、学会の動向、行政の動向などについての最新の情報

介護・在宅医療と更年期講座？

介護する家族・・・娘・嫁・妻・・・  
医療介護を支える医療・介護スタッフ  
(訪問看護師・薬剤師・ケアマネ・ヘルパー・・・)  
よくよく見てみたら  
その多くは40代以上の女性が多い・・・  
その人たちのからだと心もささえなくっちゃあね。  
千葉県でよく行っていた**更年期講座**が役に立つよ。  
みんな仲良くなれるしね・・・

浅草 渡會 美立道場

第7回 第8回

「美しく立ち、美しく動く」ことが健康の基本

講師 渡會公治先生

美しい立ち方を学びたい方。  
肩こりや腰痛でどんなふうにも動かしにくい方。  
ゴルフをしたけれど腰が痛くて思うようにゴルフが出来ない方。  
年をとってからだが良く動かないと思っている方。  
簡単にできるからだの体操を覚えたい方。  
介護をしている方、介護を受けている家族へ役

美しく立つ

20日 花の辻 18時半から20時半  
22日 浅草三堂会館 18時半から20時半





# 顔の見える関係が一番です！！

高齢になっても、病気や障害を抱えても住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしたい。そんな願いがかなえられるよう、心のケアや相談ができる場所が**癌哲学外来**でありたいと思っています。

命の長さではなく、その方の生き方が大切であると、どんな時でも希望や夢を語り、対話をすることで共感し、自分らしい生き方を見つけることができればいいと・・・癌哲学外来を通じて、多くの仲間との出会い、共に考え、行動する、そしてその活動の中で私自身も自分の生き方を見つめていきたいと思えます。

ケアマネジメントセンターあさくさ 西澤 文恵

浅草  
がんわ  
ネットワーク研究会

がんになっても  
住み慣れた地域で  
安心して過ごすために

# 地域で 患者様・家族・医療者・介護者 顔の見える関係 を作ってゆこう!!

立ち上がる地域発の七人の獅子たち...



あなたの席もご用意あり。あなたの居場所があります。  
家族と一緒に考える居場所があります。